

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1249
施設名	目白ちとせ保育園
施設所在地	豊島区高田3-36-11
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

散歩先で、ありの巣を見つけ土の中に興味を持ち図鑑で観察していくと土の中で育つ野菜があることを知り、幼児クラスでお芋掘り遠足に行く。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

ありの巣から興味が広がっていったため、図鑑で調べてみる活動を入れた。そこからさらに土に関する興味が広がったため、3歳児も芋ほり遠足に参加できたらと思ったから。

2. 活動スケジュール

一つの公園ではなく、複数の公園に行きありの巣を探してみたり、土に触ってみたりする経験をした。5歳児クラスにある図鑑を使い観察を行う。調べていくうちに、土の中で育つ野菜があることを知り、3歳児もお芋掘り遠足に参加し畑の土の感触やお芋の収穫を行った。収穫したお芋で、スイートポテトを作ってもらい食べることも楽しんだ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

準備物 図鑑・遠足に行くための大型バス・シャベル

環境 各クラスごとに、場所を確保し、お芋掘りを実施。

お芋掘りは、十分な時間を設けて行った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

散歩先での土の感触を楽しんだり、ありの巣のしくみなど5歳児クラスにある図鑑を使って観察を行った。そこから興味が発展し、土の中で育つ野菜があることを知る。そこで、お芋掘りを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

散歩先の土と畑の土の感触が「畑の土の方が、柔らかい」「大きいお芋がうまってるよ」などの声があがっていた。「本当だね、いっぱいお芋あるね」と共感しながら保育者も一緒に行くと、「先生、根っこが繋がっているよ」などの発見もあった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

ありの巣を発見してからの展開が、単発で終わってしまわないか不安だったが言葉掛けに気を付けながら様子を見ることで、子どもたちで興味を広げていく姿があった。図鑑を見る機会も自然と出来て良かったと思う。また、今年から3歳児もお芋掘り遠足に参加する活動にも繋げることが出来たので、今後も自然を意識した活動を行っていきたい。